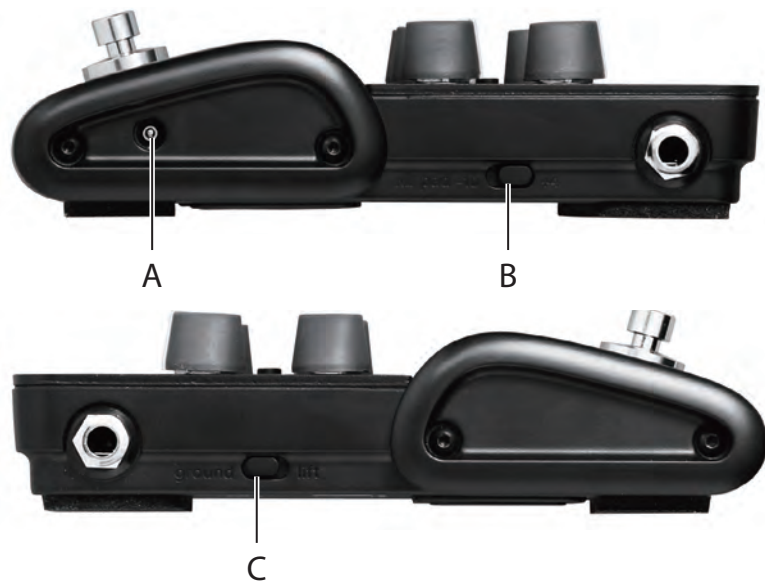


サイドパネル



A DC インプット

DC 電源用のインプットは、標準的なエフェクトペダルによく使われる 2mm プラグ用です。一般的なエフェクトペダル用の DC アダプターが使用できます。電圧が 7.5VDC 以上 12VDC 以内、電流 100mA 以上の規格の DC アダプターをご使用下さい。

注) DC インプットはセンターマイナス (－) 仕様になっていますので、使用する DC アダプターもセンターマイナスのものをご使用下さい。

B PAD パッド

XLR からの出力レベルを選択します。-10dB か +4dB どちらかを選択します。

C gnd lift グランドリフトスイッチ

このスイッチを lift 側にするとグラウンドが絶縁され、複数の機器を接続した時に起こるグラウンドループのノイズを回避できます。

*バッテリー交換について

電池が消耗したら、バッテリーケースのふたにあるタブを持ち上げ、中の電池を取り出し、新品の9V電池と交換して下さい。バッテリーのプラスマイナスと、ケース内のプラスマイナスを合わせ、逆に入れないように注意して下さい。

品質向上のため予告なく仕様・価格等が変更になる場合があります。

L.R.Baggs 製品に関しては最寄りのお店にお問い合わせになるか、ホームページ www.jes1988.com をご参考にして下さい。

L.R.Baggs日本総代理店:  JES International, Inc. 470-0112 愛知県日進市藤枝町小山711-1 TEL:0561-72-9801

L. R. B A G G S P I C K U P S

STADIUM ELECTRIC BASS D.I.
USER'S GUIDE

L.R. Baggs

このたびは Stadium Electric Bass D.I. (スタジアム・エレクトリックベース・ディーアイ) をお買い上げ頂きありがとうございます。この Stadium Electric Bass D.I. は一流スタジオで録音され整えられたサウンドを獲得できるプリアンプ D.I. です。さらにナチュラルな音から、わずかな歪みを加えるトーン、さらには過激な歪みまでワイドな音作りが可能。今までにないスタジオレベルの作り込みが可能なプリアンプ D.I. です。

性能を十二分に楽しんでいただく為に、ご使用前に、この取り扱い説明書をよくお読みになり、最適なセッティングでご利用下さい。

クイックスタート

- 9V バッテリーを本体に入れるか、一般の 9VDC アダプター (100mA 以上、センターマイナス仕様) を接続します。もしくは、D.I. ジャックに接続したケーブルを通して、48V ファントム電源を供給します。9V で駆動されている場合、オレンジの LED が、48V ファントムで駆動されている場合は、グリーンの LED が点灯します。
- ベースを Stadium Electric Bass D.I. 右側のインプットジャックに接続すると電源が入ります。出力ケーブルを左側のアウトプットジャックあるいは、バランス出力用 XLR ジャックに接続します。
- Gain ノブと VU メーターを使い、入力レベルを調節します。正しい調整法は、次ページをお読みください。
- アウトプットからのケーブルをアンプ又は P.A. に接続して音を出します。各機能についての詳しい情報は、以降の説明をお読み下さい。

仕様

インプット:	インプットインピーダンス: 2.2M Ω プリアンプゲイン: -12dB to +26dB インプットレベル: -25dBv to +1.8dBv (0.53Vrms to 1.23Vrms)	パワー: DC 電流: 4.4mA 電源: 対応電圧: 7.5VDC (最小) - 12VDC (最大) 9V バッテリーもしくは外部 DC アダプター *適合アダプター規格: 電圧 9VDC 電流 100mA 以上、センターマイナス仕様 *アダプターは、商品に含まれておりません。 *バッテリー寿命: 100 時間 ファントムパワー: 48VDC
D.I. アウトプット:	レベル: -1dBv(0.88Vrms) バランス (+4) -13dB(0.22Vrms) バランス (-10) インピーダンス: 470 Ω	
ラインアウト:	レベル: -1dBv(0.88Vrms) アンバランス インピーダンス: 470 Ω	寸法 158(L) x 101(W) x 45(D)mm
SN 比:	90dB, 無負荷	重量: 560g(バッテリー含む)

フロントパネル



A インプット

1/4" フォンタイプの入力ジャック、オールディスクリートのアンバランス/モノラル入力です。このジャックが本体の電源スイッチも兼ねていますので、ギターケーブルのプラグを接続すると本体の電源がオンになります。使用しない時はこのジャックからプラグを抜いておいて下さい。プラグを抜き差しする時は、ポップ音を避けるため、アンプやPAの音量を落として下さい。

B ゲイン

ゲイン調整は、良い音質を得るための最も重要な要素の一つです。ゲインが低すぎると音質に悪影響が出て、ノイズがかぶりがちになります。逆にゲインが高すぎると音が歪んでしまいます。クリップメーターを見ながら適正レベルにしてください。

<ゲインを正しく調整する方法>

調整の前にベース本体のボリュームを最大にしてください。

まず、ゲインノブを一番左に回し切ります。ベースを弾きながらノブを時計方向に回していきます。最も強く弾いた時にVUメーターの赤のLEDが時々点灯する処まで上げて下さい。普通に弾いて黄色のLEDが常に点灯するレベルが最適です。

C バッテリーチェック

batt と書かれたボタンを押すことで、電池の残量を確認できます。VUメーターがバッテリーチェッカーとしても作動します。バッテリーに十分電力がある場合、全てのLEDが点灯し、約100時間使うことができます。3つのLEDが点灯した時は、バッテリーは十分あります。2つのLEDが点灯する時は、バッテリーの残りは通常の使用において残り15時間ぐらいです。LED1つのみが点灯するようでしたら、バッテリーが切れかけていますので、すぐに交換して下さい。バッテリーの寿命を伸ばすためにも、Session Acoustic D.I. を使用しない時は、インプットジャックからケーブルを抜いてください。

D コンプEQ

絶妙にセッティングされた3つの狭い周波数帯ごとにコンプレッサーが作用し、暴れがちな音域を抑え、全体のトーンをより良いバランスにします。ロー、ミッド、ハイ、それぞれのコンプレッサーは弾き方によって即座に反応します。強く弾けば強く効果が掛かり、弱く弾けば弱く掛かります。ノブを左いっぱいに戻せば効果がなくなり、時計方向に回していくほどに効果が高まります。

E グロウル

サチュレートと呼ばれるわずかな歪みを低音域のみに掛け、音に温かみと立体感それに心地よい倍音成分を与えます。ノブを左いっぱいに戻せば効果がなくなり、時計方向に回していくほどに効果が高まります。driveスイッチを押すと、歪みの掛かる周波数帯域が広くなり、完全なオーバードライブサウンドになります。

F エンゲージ

attack, growl, comp eq コントロールのオンオフです。オフの場合は純粋なDIプリアンプになります。

G アタック

弦のアタックを強調します。ダークなサウンドを作ったり、ブライトさを抑えたりするのに使います。センター位置でノーマル、右にまわすとパンチが増し、左にまわすとウォームでミュート感のあるトーンになります。

H ドライブ

このボタンを押すと、growlの効き幅がひろがり完全なドライブサウンドになります。

I ファット

150Hzを中心に低音を持ち上げ、ふくよかなトーンにします。3段階のセッティングが可能で、ノーマル、+3dB、6dBから選べます。

J ボリューム

全体の音量を調節するマスターボリュームで、1/4" フォンジャック及びXLRアウト両方に効きます。

K アウトプット

本体向かって左側にある1/4"フォンジャックが出力ジャックです。アンバランス型ラインレベルの信号ですから、ほとんどのアンプ、機器に出力できます。フルレンジをカバーするPAシステムか高性能のベースアンプとの接続をおすすめします。

L XLR アウトプット

バランスシグナルの出力ジャックです。XLRケーブルを使い、ミキサーへ接続します。